

住民が主人公

区民の声で区政動かし願い実現へ

南千住第三幼稚園3歳児クラス編成求める陳情 区民の声が後押し…区議会で採択されました

新年度4月の南千住第三幼稚園の3歳児クラスの入園申込が5名で、7名以下の場合学級編成を行わないと決めたルールに基づいてすすめるとした荒川区教育委員会の方針に対して、是非とも南千住第三幼稚園に入園させて欲しいと534名もの署名を沿えて陳情が区議会に出されました。12月10日の本会議で採択されました。

陳情採択の結果を受けてクラス編成を検討

教育委員会は5名の保護者に陳情結果を伝え、検討中と回答し協議を行っています。

「7名以下」クラス編成しないルールの撤回を

毎年、他区からの転入や他園からの年度途中の転園があります。また私立園の人的配置では難しい、支援の必要なお子さんを公立園で受け入れるなど公立幼稚園には大事な役割があります。

もし少人数は教育上のデメリットがあるならば、それを補うための知恵を出すのが教育ではないでしょうか。これを引き金に公立園廃止が狙いではありませんか。

園の魅力を伝えることや保護者要望の検討はこれから！

幼稚園PTAの方が自前で素敵な園のしおりを作成し、自分たちで図書館やお店に置いてもらっています。給食実施や預かり保育の拡大などの検討は、やっとな年からです。

現在の公立園8園は地域的にも減らせません

南千住2・町屋荒川2・尾久2・日暮里2です。地域バランスからも、最低限の配置です。



町屋さくらの存続の声が広がる 移動の自由を保障する魅力ある街へ…

京成バスからコミュニティバス『町屋さくら』の運営を3月31日で終了すると申出がありました。

町屋さくら開通して10年

町屋駅や通院・買い物に、高齢のご両親が来訪、子どもの塾通いと様々な方が利用しています。

廃止で区民生活にどんな影響が出るのか、利用実態を把握しないまま荒川区は廃止に同意してしまいました。



	運行便数	2021年度予算
文京区	2ルート82便	1億7200万円
台東区	5ルート231便	3億1900万円
墨田区	3ルート152便	1億4800万円
北区	2ルート79便	3500万円

16区は赤字補填

台東区は、実地調査も行ってバス停から200mを目安にコミュニティバスの路線対象にしています。

23区中18区でコミュニティバスを運行し、16区は赤字分を区が補填しています。

購入した車両・設置したバス停が無駄になっていないのか？代替手段(デマンド交通・乗合タクシー)の方が経費が高く、シルバーパスは使えないのでは？の声もあります。

引続き声を上げていきましょう

地元町屋から提出された『継続を求める陳情』は12月10日の本会議



で残念ながら8対21で不採択になりましたが諦めません。

12月22日には区長への要望書も届いています。



区内の貴重な土地 公園整備は住民主体で

旧浄水場跡地と天王公園(南千住6丁目)・旧尾竹橋清掃敷地用地と尾竹橋公園等(町屋7丁目)で都市公園整備を行います。

整備手法などの策定は民間コンサルタント事業者に委託する計画です。

都市公園として防災性の向上や憩いの場の確保といった本来の役割を損なうことのないようコンサル任せではなく、区として方針をしっかり持つてすすめるべきだと思います。



基礎調査の段階から住民の要望を把握し、ワークショップを実施するなど、子どもたちも含め住民主体で整備を行いましょ。



18才までの医療費無料化を

若者の実態把握の第一歩と暮らし応援の一石二鳥の支援策として18才までの医療費無料化をすすめましょ。

東京都全体で実施すべきとの意見もあり、昨年11月にも日本共産党都議団で条例提案をしましたが、残念ながら自民・公明・都民ファーストの反対で実現しませんでした。

引続き連携し区民の声を届けます。

若者専門係の創設を

高校生大学生若者の行政課題を検討する本格的な部署がありません。特にコロナ禍の中で、若者たちが希望を失い生活・学業の困難に陥っている今、若者を孤立化させないように、区としての専門部署が必要です。

学校・施設のトイレに 生理用品を

5人に1人の若者が金銭的理由で生理用品を買うのに苦労したとの調査もあり、民間事業者と連携して公共施設の女性トイレで無料で受け取れるシステムを導入した区もあります。

都立高校は女子トイレにナプキンを置きました。ぜひ荒川区でも実現させましょ。

(厚労省のまとめ) 通院医療費助成は2020年4月1日時点で42%、前年比で74自治体もプラス。



引続き連携し区民の声を届けます。

若者専門係の創設を

高校生大学生若者の行政課題を検討する本格的な部署がありません。特にコロナ禍の中で、若者たちが希望を失い生活・学業の困難に陥っている今、若者を孤立化させないように、区としての専門部署が必要です。

学校・施設のトイレに 生理用品を

5人に1人の若者が金銭的理由で生理用品を買うのに苦労したとの調査もあり、民間事業者と連携して公共施設の女性トイレで無料で受け取れるシステムを導入した区もあります。

都立高校は女子トイレにナプキンを置きました。ぜひ荒川区でも実現させましょ。

ヤングケアラー・老老介護・育児と介護のダブルケアラー支援を

ヤングケアラーが大きな社会問題としてクローズアップされています。また介護する人の約7割が悩みやストレスを抱え、介護離職が年に10万人に上るなども依然、改善されていません。介護保険では介護する家族への支援がありません。荒川区独自の生活援助サービスが必要です。



- くらしの相談などお気軽に…
- ☆小島 和男 電話：3891-8884
 - ☆東日暮里3 18-4 電話：3894-6668
 - ☆北村 あ子 電話：3894-6668
 - ☆西尾久2 4-8 1F 電話：3894-6668
 - ☆法律相談第3金曜18時半
 - ☆小林 行男 電話：3895-0508
 - ☆東尾久2 37-3 電話：3895-0508
 - ☆法律相談第3火曜18時
 - ☆横山 幸次 電話：3895-0504
 - ☆町屋5 3-5 電話：3895-0504
 - ☆法律相談第1月曜18時
 - ☆斉藤 くに子 電話：3806-5134
 - ☆荒川7 37-1 電話：3806-5134
 - ☆法律相談第4月曜18時
 - ☆相馬 ゆこ 電話：3807-4192
 - ☆南千住5 1-6 2F 電話：3807-4192
 - ☆法律相談第2木曜18時